

わかば祭り 「招く交流」

発見・省察・創造の「学び」

4年浅野友輔さんは、清明小学校で、3年の4月から4年の5月まで継続して毎週月曜日午前中に活動してきました。6月からは教員採用試験にむけて中断しています。

「わかば祭り」では、特別支援学級の子どもたちが、普段の交流学習のときよりも生き生きとかがやいていました。浅野さんは、その理由を「招く交流」にあると考察し、子どもたちの「学び」の展望が拓けてきました。



「ペットボトル空気ほう」でまをとをたおすゲームコーナーと、そのほかに輪投げのお店を開きました。(浅野撮影)

わかば祭り

4年 浅野 友輔

私が学校ボランティア活動をしている清明小学校の特別支援学級の報告です。

生活単元の「わかば祭りをしよう」という学習で、その終末に1、2年生を招待して、準備をしたお店に来てもらう活動のときのことです。

清明小学校では、普段から特別支援学級に在籍する子どもが通常学級へ行って勉強や活動をとにもする交流及び共同学習を行っています。が、「わかば祭り」で見られた特別支援学級の子どもの姿はそのときよりも積極的な態度や明るい表情が見て取れました。

H君の場合、お客さんとして来てくれた1、2年生の子に、どうすれば喜んでもらえるかを考え、「おお、すごいね!」、「あー、おいしい!」などと手の振りつけた大きなリアクションで称賛や励ましの言葉をかけていました。

Rさんの場合、普段はあまり人と話すことが得意ではないのですが、ルール説明などのお客さんに話しかけると、伝わりやすいようにしっかりと相手の目を見て話すことができていました。(下に続く)

その理由として、通常学級の子どもたちが特別支援学級の子どもたちに「招かれる」、すなわち特別支援学級の子どもたちが通常学級に在籍する子どもたちを「招く」ということがあげられます。ここでは、そういった交流を「招く交流」とします。

「招く交流」は、特別支援学級の担任と子どもたちが主体となって活動するので、主導権を握りやすくなっています。さらに、子どもたち自身の取り組みやすさや担任としての手立ての尽くしやすさが背景にあって、子どもたちの意欲が高まったのではないだろうかと考えられます。

私は「招く交流」を見て、特別支援学級の子どもたちにとって、とても可能性が広がるものだと感じました。普段の交流及び共同学習では、どうしても周りの人からしてもらうことが多くなってしまいます。しかし、「招く交流」で誰かにしてあげるということを経験として積んでいくことで、子どもたちの大きな自信へとつながっていくのではないかと思います。その自信でどんなことにも挑戦してくれたらいいなと思いました。

小室さんデビュー

4年小室翔平さんは、4月から5月までの2ヶ月間、清明小学校で活動しました。はじめは小学低学年の子どもたちと中学生とのギャップにとまどいながら、徐々に子どもたちの目線になって活動できるようになりました。2人は、採用試験後、また子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

学校ボランティアの経験から学んだこと

4年 小室 翔平

私は、4年の4月から学校ボランティアを始めました。第2学年のクラスに入っています。私が学校ボランティアを始めたきっかけは、小学校現場での実践の経験を積みたかったためです。私は元々中学校の数学の教員を目指していましたが、様々な理由から3年次の10月に小学校の教員を目指すようになりました。他の小学校教員を目指す学生との小学校での実践の経験の差から、焦りと不安を感じていました。その時、友人から学校ボランティアを勧められました。

活動内容としては、朝の登校から下校まで1日を子どもたちと共に過ごします。本当に1日が充実していると共に多くの発見や学びがあります。

様々な学びの中で特に印象に残っているのは、発達段階に即した、発問や指示、声掛けをしなければならないということです。中学校の実習の時には抽象的な表現でも生徒は汲み取って動いてくれました。ですが、小学生に対してそれでは、何をすればいいのかわからない児童が出てきてしまいます。具体的にかつ、端的な表現を心がけ、よりわかりやすい表現でなければならないと痛感しました。

このように、学校ボランティアのおかげで中学生と小学生という違う発達段階の児童生徒とかわかることでさらに学びを深めることができました。そして、何より子どもたちと触れ合い、子どもの新たな一面を発見する中で、小学校教員として働きたいという気持ちを再確認することができました。

浅野さんは、子どもに寄添って話しかけます。



小室さんも、耳を傾けて子どもの話を聴き取ります。



【問合せ先】 学校ボランティア支援室は、疑問、困りごと、要望、相談に応じます。

(理工107 e-mail: 齋藤幸男 ysaito@educ.fukushima-u.ac.jp

二瓶洋允 hnihei@educ.fukushima-u.ac.jp)

【相談時間】 月～金 (9:00～16:30)

【体験訪問】 水曜日は、保原小学校で全校『学び合い』を体験できます。